

# 赴任前面接 チェックポイント

## 海外駐在面接時のチェックポイント



最近では、海外駐在を断る社員も出るなど、駐在員のモチベーションは以前と様変わりしています。

先日のセミナーでお話した、「やる気」を判断する簡単なポイントをご紹介します。

御社独自の面接方法があると思いますが、参考にしていただければ幸いです。

### 1. 明快な「回答」

海外に行ってなにをしたいか。目的が明確に答えられる。結論が先で話が長くない。＝どういう人物を海外に赴任させたいか、明確なイメージが会社側にあることも大事。

### 2. 間

質問に対して、間髪入れずに即答できる。

「えっと」「あの」「ああ・・・」など、回答の前に「間」や「つなぎの言葉」が入らない。

行きたくない社員ほど、「間」や余計な言葉が多い。

### 3. 目

人事側の質問に対して、「目」がおよがない。

行きたくない、目がキョロキョロ動く。

### 4. 動き

「手」や「体」の動きが多い。動きが多いのは、体が行きたくないという意識にメッセージを発している。

### 5. 声

声が小さい。聞き取りにくいのは、行きたくない無意識のメッセージ。

国、地域によっては働きたい **46%**

どんなところでも働きたい **18%**

海外では働きたくない **36%**

命令だから仕方なく従う **37%**

辞令を断る **30%**

喜んで従う **29%**

### 若者の海外赴任意識

出所：産業能率大学調査2007



#### 目の動き

目は口ほどに物を言うといえます。目の動きをチェック！



#### 手（顔に触れる回数）

自信がある物言いでも、顔に手が触れる回数があるのは実は自信がない表れ。



#### 振り返り（部屋を出るとき）

最後の行動に本音が表れます。本当に赴任したい人はドアを閉める前に振り返りかえることが多い。